

# 最終報告書

団体名 鳥取大学 CITA

我々CITA は今年度の主な活動としては、鹿野での空き家活動、アパートの改修デザイン、県内フィールドワークを行なった。

まず、鹿野での空き家改修活動については、鹿野に住む姉妹が店と利用する空き家の改修の手伝いを行なった。この活動は姉妹が店のデザイン等を決めていたため、片付けや解体などの作業の手伝いを主にしていた。また空き家の改修は完了しており、現在は姉妹が店として利用している。さらに、上記の活動と並行して空き家を改修して鹿野にリユースハウスをつくるという活動も行なっていた。リユースハウスとは空き家の解体で出てくる廃材などを資材として売る施設のことである。前回から活動の計画が具体的に決まり、今年度は鹿野にある空き家の古民具や資材等売るガレージセールを行い、こういった古民具や資材がいくらだと売れるのかを確認することと、リユースハウスとして使う予定である土間の打ち直しをすることを目標に活動を行う。リユースハウスの計画としては、全体で3年の計画となるので、今後も継続して行うことを想定している。

また、前年の春に完成したクチュール鹿野は鳥取県主催の空き屋活用コンテストに応募したところ優秀賞となった。

次に、アパートの改修デザインについての活動についてである。この活動はユニバーサルホームという会社からアパートの改修頼まれたことをきっかけとした活動である。デザインについては2022年5月時点で決定しており、解体現場の見学と新聞の取材を行なった。その後、無事に完成し完成した1室を確認した。取材については、予定が合わないとの連絡が来てから連絡が来ていない。

あとは、Revit勉強会を行った。Revit勉強会とは、Revitという建築の製図(3Dモデル)を作成するソフトの使い方を勉強する。毎週月曜日の4限に行い、ウェブサイトにある学習教材を使ってRevitの操作を段階的に学習する。最終的には、ツナガルドボク主催のBIM大会というRevitを利用することを目的のコンペに参加してもらい学習の成果を発揮してもらうことを予定している。